



よつ葉だより 10月29日号文化イベント情報でお知らせしましたが、11月18日(土)栃木県上三川町いきいきプラザで「有機農業推進フェア～会場まるごとオーガニック!!」が開催されます。同じ日には「とちぎ国際有機農業映画祭2018」が催されます。



昨年のよつ葉生協「とん汁」出店のようす

午前の部 『甘いバナナの苦い現実』

この映画の舞台、バナナの一大産地フィリピンミンダナオ島では大量の農薬が空中散布されています。現地住民や子どもたちに、皮膚病や失明、がんなど深刻な影響が出ており、生産法人の不条理な契約も横行しています。

日本の市販バナナからは、ネオニコチノイド系農薬や有機リン系農薬、殺菌剤などが残留していることがすでに分かっています。おいしいバナナと引き換えに産地住民の健康が脅かされている現実を前に、農業や食べものと私たちとのつながりを考えます。現地に詳しい田坂興亜さんの解説があります。(※よつ葉生協のバナナは、すべて有機栽培です)

午後の部 『種子—みんなのもの?それとも企業の所有物?』

世界では、食の根源である種子が多国籍大企業に独占される動きが進んでいますが、それに対抗するラテンアメリカの人々の闘いが紹介されています。

今年4月に廃止された主要農作物種子法に代わり、埼玉県や兵庫県などでは独自の条例を制定して種子を守る動きが出ています。栃木県でも条例制定をめざすのか、映画上映のあと、^{いんやぐ}印鑰智哉さんをお迎えして意見交換をします。

とちぎ国際有機農業映画祭2018 プログラム

- 10:00～ 開場(上三川いきいきプラザ 2F 大会議室)
- 10:15～ 開会あいさつ
- 10:20～ 『甘いバナナの苦い現実』
- 11:45～ 解説・フリートーク 田坂興亜氏(アジア学院理事・元国際基督教大学教授)
- 13:30～ 『種子—みんなのもの?それとも企業の所有物?』
- 14:20～ 解説・フリートーク 印鑰智哉氏(日本の種子を守る会理事局アドバイザー)
- 15:00～ 主要農作物の安定供給を求める「県条例」制定運動について
- 16:00～ 閉会

映画は入場無料です!この機会に、私たちの食卓について考えてみましょう。(理事 三輪)



昨年の有機農業推進フェアの様子

共通申込書

希望する行事名に してください
 秋山さん農業体験③ カフェつくば カフェ佐野
 カフェ太田

会員コード	氏名
住所	
連絡のつきやすい電話番号☎	
参加人数 (大人) 組合員	人 ※同居の家族は組合員に含みます
(大人) 組合員以外	人
(小・中学生)	人 歳 歳 歳
(未就学児)	人 歳 歳 歳
参加者のアレルギー	無・有()

託児: 6カ月以上のお子様から 人 歳 歳 歳 歳
 お子さんのアレルギー 無・有()

備考欄

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告(10月4週分)

ご協力ありがとうございます。
 組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (660番)	11,800
震災孤児を支援する募金 (670番)	24,000
「有機農業と国産種子」募金 (690番)	12,900
合計	48,700

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側「企画商品」内の「復興支援募金」をクリック。一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp

